



## 市民ふれあいまつり

7月23日(土)・24日(日)の両日に美唄市社会福祉協議会の市民ふれあいまつりが開かれました。24日(日)には美唄保健センターにおいて、例年通り美唄歯科医師会主催の歯科コーナーが開かれ歯科ドックを行いました。

当日はそらち歯科の大坪先生・美唄中央歯科の笹川先生・吉村歯科より歯科衛生士が来られて、10時より始まりました。

内容は昨年と同じく無料の歯科相談の他に“RDテスト”むし歯菌の数や活動性を調べます。“唾液潜血テスト”唾液が酸を中和する力を調べます。

“咬合力テスト”咬む力を測定します。

“口臭測定”むし歯や歯槽膿漏が口臭の原因となります。

などの4つのテストが行われ、その検査内容や結

果の説明が各歯科医師により丁寧に説明されました。今年度は同時に検査の待ち時間を利用して、お口の体操や、紙芝居も行われ好評でした。参加者はおおよそ50名ほどで、皆さん笑顔で帰られました。

また、会場では美唄歯科医師会の公衆衛生活動の一環である“よい歯のコンクール”の写真、学童対象の“図画・ポスターコンクール”の参加作品、また本年度も8月27日(土)に開かれる“高齢者の歯のコンクール”の紹介も行われました。

より良い食生活のために、自分の歯の重要性を認識していただくと共に、ご自分に合ったメンテナンスを行う必要性を分かっていただけだと思います。

(孫 泰一記)



## 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

7月26日(火)美唄市教育委員会教育委員室において、図画・ポスターコンクールの審査が行われました。審査員は教育長・教育部長・学務課長・指

導主事・青少年センター所長・美唄歯科医師会より会長と平の7人で行いました。

募集締め切り直前になっても作品が届かず、審査も危ぶまれていたのですが、ぎりぎりになって4校より61作品(低学年の部38点・高学年の部23点)の応募があり胸をなでおろしました。

昨年は作品数が減っていたため、春の健診時にそれぞれの学校歯科医の先生に担当学校に出品をお願いしていただいたので、一昨年の応募数に近づいたと思います。

迫力のある作品やユニークな作品また各学校で特色のある作品などがあり順位をつけるのは大変でしたが、何とか低学年・高学年それぞれ5作品ずつ入賞作品を決定いたしました。

来年はもっと多くの学校に出品していただきたいものです。

(平 和隆記)



## 高齢者の歯のコンクール

8月27日(土)に例年よりも少し早く毎年恒例の「高齢者の歯のコンクール」が当医院で開かれました。今年は6人の参加者でした。

その内の2人は市内に張り出したポスターを観ての応募という嬉しいおまけ付でした。広報活動が少しでも成果を上げている現われだと思えます。例年1位と2位を決定して残りの方達は優秀賞として後日に美唄市で開かれる美唄市高齢者福祉大会で表彰する予定です。勿論道歯会の審査の方へも行っていただくように患者さんには要請してお

ります。

今年は1位の方と2位の方がはっきりしていて、残りの方はまさにどんぐりの背比べだったので、楽に審査をさせていただきました。年々美唄歯科医師会の先生は患者さんを探すのが大変になっているようです。

当医院でもカルテのパソコンで80歳以上を先ず探し、そして20本以上を、そして今までに参加されていない患者さんをと検索して行くと2人しか残りませんでした。

今回はその内のお1人に予定が有って不参加だったので来年はその患者さんと、もう1人を何とか見つけなくてはと思っています。

当日はお忙しいなか、宝崎会長をはじめ小森副会長、それに事務の近藤さんに来ていただきました。また来年はもっと元気な沢山の高齢者に会えるのを楽しみにしています。

美唄歯科医師会の先生には次年度も宜しく願いいたします。

(孫 泰一記)

